

蒲原町

地形概況

富士川河口西部の砂礫質扇状地、吹上浜から海岸にそう砂堆地の低地が細長くのびる。礫層の厚い蒲原丘陵は開析が進み、急な谷壁をもつ堰沢川・向田川ぞいに段丘面も残り、その南縁は海食崖となる。北部の大丸山一帯は岩渕火山性山地の延長である。

地質概況

北部の山地は安山岩質の溶岩と凝灰角礫岩層の岩渕累層からなり、その南には蒲原礫層の丘陵がある。礫層は円礫の海成層である。西側は浜石岳層群の礫岩層に接し断層が境界にみられる。海岸にそって砂層が堆積するが人工改変が著しい。

気象概況

年平均気温は推定 15.5℃程度、年降水量が富士川町桑木穴で 2,353mm である。典型的な表日本型の気候で、冬季は温暖で穏やかな晴天の日が続く。降雨は県内の平均であり、梅雨から夏季(5 月～8 月)に全降水量の約 50%が降る。

災害事例 地震

- 1944 年 12 月 7 日（昭和 19 年）東南海地震 M=7.9
県中・西部で被害が大きかった。当地では震度 5～6 であった。
- 1854 年 12 月 23 日（安政元年）安政東海地震 M=8.4
全県下に被害を及ぼした大地震。当地では地割から砂水噴出し、全潰 3 戸、半潰 35 戸、破損 36 戸などの被害が出ている。また富士川の右岸が隆起した。震度は蒲原で 7、小金で 6～7、神沢で 6 と推定される。
- 1707 年 10 月 28 日（宝永 4 年）宝永地震 M=8.4
全県下に被害があったが、当地でも過半数の家が潰れ、また山崩れによっても、多くの家がおしつぶされた。

災害事例 台風

- 1966 年 9 月 25 日（昭和 41 年）台風 26 号
全県下特に中部で被害が大きかった。25 日 1 時半頃、4m の防潮堤を越えて高波が襲った。被害は全壊 17 戸、半壊 51 戸、みかんの 50%、水稻の 70%に損害を生じた。